102

昭和十二年九月七日

週刊時報

(145)

支那事變特輯(九)

外務省情報部

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

外務大臣議會演說……一頁
外務省聲明（九月五日）……七頁
事變ト各國
(A)米國……八頁
(1)米國政府根本方針（「ハル」長官放送）（九月一日）
(2)「フーヴァー」號爆擊事件
イ、支那側陳謝
ロ、米國抗議內容
(3)三巡洋艦。陸戰隊上海行（米紙）
(B)獨逸……一二頁
支那軍獨逸人ヲ狙擊
各國新聞論調
(1)米國紙……一三頁

(2)獨逸紙……一五頁
(3)佛國紙……二〇頁
(4)白國紙……二二頁
(5)芬蘭紙……二三頁
(6)「シヤム」紙……二四頁

支那……二五頁

(1)金融安定辨法修正救國公債發行其ノ他
(2)外國人ノ山東省內遊歷執照ニ加印セス

第七十二囘帝國議會ニ於ケル廣田外務大臣ノ演說

嚢ニ第七十一囘帝國議會ニ於テ、私ハ我カ對外關係ノ全般ニ付テ述フル所カアリマシタカ、本日茲ニ、今次事變ニ關聯スル其以後ノ外交經過ニ付、概要陳述致シタイト存シマス。

事變勃發以來、帝國政府ハ、現地解決事態不擴大ノ方針ニ基キ、南京政府ノ速ナル反省ヲ求メ、時局ノ收拾ニ努力シ來ツタノテアリマスカ、南京政府ハ毫モ誠意ヲ示サス、益々中央軍ヲ北支ニ集中シテ我方ニ挑戰シ來ルト共ニ、揚子江流域及南支各地ニ於テハ、陰險極マル排日ヲ行ヒ、以テ是等地方ニ於ケル我カ在留民ノ平和的活動ハ固ヨリ、其ノ生存ヲスラ危殆ナラシムルニ立至ツタノテアリマス。

斯カル狀態ノ下ニ於テモ、帝國政府ハ、尚出來得ル限リ事態ノ平和的收拾ヲ期シ、漢口ヲ初メ、長江流域在留邦人ヲ全部引揚ケシメタノテアリマス。其ノ後偶々八月九日上海ニ於テ、我カ陸戰隊大山中尉及齋藤水兵カ、支那保安隊ノ爲無殘ニ殺害セラルルニ至リマシタカ、我方ニ於テハ尚努メテ平和的解決ノ方針ヲ以テ之レニ處シ、右

保安隊ノ急速ナル撤退、竝ニ昭和七年ノ停戰協定ニ違反スル各種軍事施設ノ撤去ヲ求メ、以テ事態ノ收拾ヲ圖ラントシタノテアリマス。然ルニ支那側ニ於テハ言ヲ左右ニ託シテ之ニ應セサルノミナラス、愈々停戰區域内ニ於ケル其ノ兵力竝ニ軍事施設ヲ增大シ、我方ニ對シテ不法ニモ攻勢ニ出テマシタ爲、帝國ニ於テハ已ムナク應急ノ措置トシテ、少數ノ海軍兵力ヲ上海ニ增遣シ、以テ我カ居留民保護ノ責ヲ全ウセンコトヲ期シタノテアリマス。

斯ノ如ク上海ノ形勢不穩ニ立至リマスルヤ、八月十一日在南京英米獨佛伊ノ五箇國大使ハ、日支双方ニ對シ、上海ニ於ケル外國人ノ生命財產ノ安全ヲ計ル爲、同地ヲ戰火ノ巷トナササル樣、出來得ル限リノ措置ヲ講セラレ度キ旨申出タノテアリマス。右ニ對シ帝國政府ハ、上海ニ於ケル内外人生命財產ノ安全ハ、固ヨリ我方ニ於テモ最モ顧念スル所テアルカ、是カ爲ニハ租界附近ニ進出シ我方ニ脅威ヲ與ヘツツアル支那正規軍及保安隊ヲ、交戰距離外ニ撤退セシメ、租界附近ノ軍事施設ハ之ヲ撤收スルコトカ先決問題テ、支那側カ右條件ヲ受諾スルニ於テハ、我方陸戰隊ノ配備ヲモ亦常態ニ復スルノ用

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

為アル旨ヲ答ヘ關係列國ニ於テ先ツ支那側ヲシテ、右條件ヲ受諾セシムル様在支大使ヲシテ五國側ニ申入レシメタノデアリマス。然ルニ支那側ハ右我方ノ應急適切ナル條件ニ對シ、耳ヲ傾ケナカツタ由デアリマスカ、續イテ八月十三日ニハ更ニ在上海英米佛三國總領事ヨリ、交戰停止方ニ關スル一具体案ヲ示シ、日支間ニ直接交渉ヲ行ヒ、目前ニ迫ツタ危機ヲ回避スル様日支双方ニ申出カアリ、右申出ハ八月十三日夜半東京ニ接到致シマシタカ、支那側ハ右ニ拘ハラス續々上海附近ニ正規軍ヲ進出セシメ、既ニ同日午後ヨリ攻撃ヲ開始シ、十四日ニ至ツテハ遂ニ我カ陸戰隊及軍艦竝ニ總領事館ノミナラス、租界内隣所ニ爆彈ヲ投下スルノ暴擧ニ出テマシタ爲、事茲ニ至ツテハ帝國トシテモ、最早平和的收拾ノ望ヲ捨テ、三萬ニ垂ントスル我カ居留民保護ノ爲、遂ニ戰鬪ヲ行ハサルヲ得サルニ至ツタ次第デアリマシテ、關係列國ノ努力モ支那側ノ暴擧ニヨリ、一瞬ニシテ水泡ニ歸シタノハ誠ニ遺憾ニ堪エナイ所デアリマス。

其ノ如ク上海一帯ハ戰火ノ巷トナリマシタ結果、該地ニ莫大ノ投資ト多數ノ居留民トヲ有スル關係各國ハ、自然之ニ對シ重大ナル關心

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ヲ示スニ至リ、英國ヨリハ、更ニ八月十八日「日支兩國政府カ雙方ノ兵力ヲ撤退シ、共同租界及越界路在住日本臣民ノ保護ヲ外國側ニ委任スルニ於テハ、英國政府ハ他ノ列國カ英國ト共ニ同一行動ニ出ツル限リ、右責任ヲ取ルノ用意アル」旨申出テ、佛國政府モ亦翌十九日右英國政府ノ申出ヲ支持スル旨申出テマシタカ、之ヨリ先、米國政府ヨリモ上海ニ於ケル戰鬪停止方ニ付希望ヲ述ヘ來ツタノテアリマス。帝國トシテモ此等諸國ト同樣、上海ニハ重大ナル利害關係ヲ有スルニ鑑ミ、出來得ル丈ケ同地ノ平穩ヲ冀念スル次第テアリマスカ、前述ノ如ク、今次上海ニ於ケル支那側ノ行動ハ昭和七年ノ上海停戰協定ニ違反シ、濫リニ正規軍ヲ協定地域內ニ入レ、保安隊ノ數及武裝ヲ增强シ、衆ヲ賴ンテ我軍民ニ挑戰シ來ツタ次第テアリマスノテ、前記英國政府ノ申出ニ對シテハ、我方從來ノ平和的努力並ニ支那側ノ不法攻擊ノ實狀ヲ詳述シ、上海ニ於ケル戰鬪ハ、支那側カ直ニ右正規軍ヲ協定地域外ニ撤退シ、保安隊ヲ前線ヨリ遠サクルコトニ依リ終熄スルノ外ナキ旨ヲ回答シ、英國モ停戰協定關係國ノ一トシテ、速ニ支那側ノ停戰區域外撤退方實現ノ爲盡力センコトヲ

求メ、佛國及米國ニ對シテモ、夫々同樣ノ趣旨ヲ回答致シタノテアリマス。

偖、北支ニ於キマシテハ、支那側ハ從來我方トノ間ニ存在シマシタ各種ノ約諾ヲ無視シ、大軍ヲ北上セシメテ頻リニ挑戰的態度ニ出テ居リマスルノミナラス、更ニ察哈爾方面ニモ續々軍隊ヲ進出セシメテ參リマシタノテ、我方トシテモ斷然之ニ對應シテ適切ナル措置ヲ執ルノ已ムナキニ至ツタノテアリマス。

以上ノ如ク戰鬪ハ今ヤ北支ノミナラス、中支方面ニモ波及シ、帝國ハ遂ニ支那トノ間ニ廣範圍ニ渉リ戰火ヲ交ヘサルヲ得サルニ至リ、又中南支及山東ニ於ケル約五萬ノ我カ居留民ハ、多額ノ投資、多年ノ地盤及權益ヲ後ニ殘シテ、引揚クルノ止ムナキニ立チ至リ、更ニ戰火ノ犧牲トナツタ居留民モ相當多キニ上リツツアリマスノハ、甚タ痛心ニ堪エナイ所テアリマス。在支第三國人モ亦我カ居留民ト同樣困難ナル立場ニ置カルルモノ尠クナイノハ、誠ニ氣ノ毒ナコトテアルト云ハナケレハナリマセン。是レ畢竟南京政府ノミナラス、地方軍閥ニ至ル迄、多年自己政權強化ノ爲排日抗日ノ氣風ヲ煽動シ、

民心ヲ激化スルノミナラス、進ンテハ赤化分子ト布合シテ、日支ノ國交ヲ益々惡化セシメタル結果ニ外ナラナイノテアリマス。今ヤ我カ忠勇ナル皇軍ハ、擧國一致ノ後援ノ下ニ、日夜有ラユル艱苦ヲ排シテ戰鬪ニ從事シ、目サマシキ效果ヲ擧ケツツアルハ眞ニ感激ニ堪ヘナイ次第テアリマス。

帝國ノ國是カ日滿支三國間ノ融和提携ニ依リ東亞安定ノ基礎ヲ築キ、以テ共存共榮ノ實ヲ擧ケントスルニアリマスコトハ、今更申スマテモナイノテアリマス。然ルニ支那ハ毫モ我カ眞意ヲ諒解セントセス、却ツテ今日ノ如ク大軍ヲ動カシテ、我カ軍民ニ向ヒ來ル以上ハ、我方モ亦之ニ對應スル軍事行動ニ依リ、斷乎トシテ支那ノ猛省ヲ促スコトヲ急務トスルノテアリマス。而シテ帝國ノ庶幾スル所ハ北支ヲ明朗ナラシメ、支那全土ヨリ今回ノ如キ戰禍再發ノ憂ヲ除キ、兩國ノ國交ヲ調整シ、依ツテ以テ前述ノ國是ヲ實現セントスルニ外ナラナイノテアリマス。故ニ私ハ支那爲政者カ東亞ノ大局ヲ洞觀シ、速ニ反省シテ帝國ノ理想ニ順應シ來ランコトヲ望ンテ止マナイ次第テアリマス。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

外務省聲明　（九月五日）

帝國政府ハ曩ニ時局ヲ速ニ收拾シ事態ヲ安定スル目的ヲ以テ支那船舶ニ對シ中南支沿岸一部ノ交通ヲ遮斷スル措置ヲ取ツタカ今般更ニ右區域ヲ擴張シ昭和十二年九月五日午後六時ヨリ北緯四十度零分東經百十九度五十四分ヨリ北緯二十一度三十三分東經百八度三分ニ至ル青島及第三國租借地ヲ除ク爾餘ノ中華民國沿海ニ對シ支那船舶ノ交通ヲ遮斷スルコトニ決定シタ。然シ乍ラ右ノ措置ハ專ラ支那側ノ反省ヲ促サントスルノ念慮ニ出ツルモノテアツテ帝國政府ハ第三國ノ平和的通商ハ尊重スヘク之ニ干渉ヲ加フル意圖ハナイ。

7

(A) 米　國

(1) 米國政府根本方針（「ハル」長官放送）（九月一日）

「ハル」長官ハ九月一日夜全米ニ向ヒ、國務省ノ機能並ニ活動振ヲ説明スル放送演説ヲ行ツタカ、右演説中、米國政府ノ根本方針トシテ左ノ點ヲ力説シタ。

「全米國民ハ再ヒ戰爭ニ捲込マレヌ様確固タル決意ヲ有スル。此ノ決意コソ米國ノ對外關係ヲ律スル根本原理テアリ、米國民ハ決シテ此ノ原理ヲ見失フコトハナイ。米國政府ノ政策中、何レノ部分ト雖戰爭ヲ助長シ、又ハ誘發スルモノテナイコトハ、如何ニ辛辣ナ批評家モ之ヲ認メルテアラウ。

國内ニ對シテハ自制、對外的ニハ他國ノ内政不干渉ヲ根本原則トシテ、米國ハ平和的手段ニ依ル國際關係調整ニ努力シテ來タ（中略）。而シテ世界各國カ目下直面シツツ、經濟的難局ヲ打開スル

ニ成功スレハ聽テ政治的情勢改善ハ從フモノト余ハ確信スル。」

(2)「フーヴァー」號爆撃事件

イ、支那側陳謝

支那機ノ「プレジデント。フーヴァー」號爆撃ニ關シ八月三十日夜南京外交部ハ、政府ハ直ニ調査ヲ命シタルカ、米國官憲ニ對シ責任ヲ負ヒ、賠償ノ用意有ルヲ通告セル旨聲明シ、兪市長ハ負傷者ニ同情ヲ表シ、政府ハ充分賠償スル用意有リト了解シ居ル旨發表シタ。又上海ノ英字紙ハ大見出ヲ附シ事件ヲ特報シ、漢字紙ハ何時ニナク前記聲明ヲ載セ、事件ハ支那機ノ所爲テ、日本ノ運送船ト見誤ツタ結果タト報シタ。

右ニ關シ

一、「ハル」長官ハ八月三十日新聞記者會見ニ於テ、本事件ハ不幸且悲シムヘキ事件ナルモ、現下ノ上海ニ於ケル混亂狀態ニ於テハ珍シキ事柄テナイ、唯「ジョンソン」大使ニ對シテハ、不取敢、南

京外交部ニ強硬ナル抗議ヲ提起スル様訓令シテ置イタ、ト語ツタ趣デアル。

駐米支那大使ハ八月三十日朝「ハル」長官ヲ訪問シ、遺憾ノ意ヲ表スルト共ニ同時ニ、未タ本國政府ヨリ公報ハナイカ、新聞報道ニ依レハ、本事件ハ支那機ノ過誤ニ基クモノノ如ク、被害者ニ對シ深甚ノ同情ヲ表スル、トノ聲明ヲ為シタ。

ロ、米國抗議内容

尚本件ニ關シ九月一日米國各紙所報米支應酬ノ經過、並ニ國務長官ノ記者會見談要領左ノ如シ。

一、米國政府ノ對支抗議ノ内容ハ、支那飛行機ノ所為カ、非戰闘員ニ對スル違法且辯解ノ餘地ナキ罪惡ノ標本ナルコトヲ高調シタモノテ、右ハ在米支那大使及在支米國大使雙方ヲ通シ提出サレタカ、右ニ對シ南京政府ハ、支那大使ヲ通シテ長官ヲ訪問セシメ、衷心遺憾ノ意ヲ表示スルト共ニ、充分ナル責任ヲ負擔シ、且被害ニ對

シ補償ノ用意アル旨ヲ申入レシメタ趣テアル。

三、八月三十一日新聞記者會見ニ於テ「ハル」長官ハ、本件ニ關スル支那政府ノ措置ニ對シ充分滿足スル旨ヲ述ヘタカ、記者ヨリ重ネテ、支那ノ措置ニ充分滿足スルヤトノ質問ニ對シテハ明答ヲ避ケタ外、御座ナリノ抗議以外ニ何等カ特別ノ措置ヲ執ル意思アリヤ否ヤニ付テモ説明シナカツタ。

(3) 三巡洋艦。陸戰隊上海行（米紙）

一、九月一日附羅府諸紙ハ巡洋艦「タスカルーサ」「クインシー」及「サン。フランシスコ」ノ三艦（各九、五〇〇噸）ハ、八月三十一日ヨリ羅府港ニ於テ急遽燃料、食料、軍需品等ノ積込ヲ開始シ、出航準備ヲ整ヘ居ル旨ヲ報シ、右ハ何レモ相前後シテ上海方面ニ急行スルモノト臆測シタ。

二、上海在留米人保護ノ為「サンディエゴ」所在陸戰隊千三百名ハ、海軍輸送船「ショーモント」ニ乗船、輕巡洋艦「マーブルヘッド」

(七、〇五〇噸)護送下ニ八月二十九日同地ヲ出發セル趣テアルカ、上海着ハ九月二十一日ナル趣テアル。

(B) 獨逸

〇支那軍獨逸人ヲ狙擊

九月二日獨逸各新聞ハ大見出ヲ以テ、獨逸人「ルードルフ。ベルグ」外致國人一名カ、上海虹口附近ヲ自動車ニテ疾走中、支那軍ノ爲機關銃ヲ以テ狙擊サレタ事件ヲ報道スルト共ニ、右ニ付、日本兵カ自動車ヲ以テ右兩人ヲ病院ニ運ンタ上、其ノ後ノ手當等ニモ手ヲ盡シタ點ニ感激セル旨ヲ特筆大書シタ。

各國新聞論調

(1) 米國紙

△紐育「タイムス」（八月廿九日）（「支那ノ將來」）

明日ノ支那ノ向フ所カ共産主義カ、民主主義カハ誰シモ知ラヌ。支那ハ再生ノ惱ミノ眞只中ニ喘クモノテアル。勿論差迫ツタ譯テモナイカ、東洋ニ於ケル西洋諸國ノ特權ハ早晩打壞サレヤウ。先頃迄國民政府財政顧問ヲ勤メタ元伊太利藏相「アルフレツデ。ステファーニ」ハ、今次事變テ、東洋ニ於ケル西洋列強勢力ハ失墜スヘク、此ノ一事ノミハ動カセヌ、ト言ツタ。之ハ世界觀察者一致ノ見方テアルカ、支那ハ其ノ覺醒ノ爲ニ西洋諸國ヨリノ巨大ナ投資ノ必要ヲ自覺シテ居ル。故ニ極東ノ勢力關係カ急變ヲ見ル迄ハ、西洋諸國カ全然追出サレルコトモアルマイカ、永イ眼テ見ルト、支那カ國家主義ニ自覺メレハ西洋諸國ノ勢力ヲ驅逐スヘキハ確實タ。西洋諸國カ武力ヲ用ヒテ迄威嚴ヲ保タウトスレハ、「ステファーニ」ノ言ノ如ク、日支ノ同盟ヲ促進スルコトニナル。

△「クリスチャン。サイエンス。モニター」ハ九月二日「九國條約締結國ト中立法」ト題シ、次ノ如ク述ヘテ居ル

今ヤ米國ノ平和主義者ハ二派、即チ中立法ヲ適用セヨト云フ孤立主義者ト他ノ利害關係國ト協同セヨト云フ國際主義者トニ分レテ居ル、兩派共目的ハ米國カ戰爭ニ捲キ込マレルノヲ避ケ様トスル事ニアリ、唯方法ヲ異ニスルノミテアル、孤立主義者ハ「ベランカ」飛行機會社製飛行機ノ對支輸送ヲ非常ニ氣ニシテ居ルカ、之ハ日本ノ封鎖宣言中外國船ノ平和的輸送ハ妨害セヌト云フ文句ノ好イ試驗臺ニナル、若シ米國船舶カ日本海軍ニ依リ停船捜索ヲ受ケタ場合米國ハ頗ル困難ナ立場ニ置カレルカラ、米國船舶ニ依ル對支軍需品ノ貿易ニハ反對タカ。孤立主義者ノ様ニ列國トノ共同ヲ恐レルノハ贊成出來ナイ。

本紙カ昨今主張シテ居ル様ニ日支ヲ除ク九國條約締約國會議ヲ開キ、適當ナ對策カ得ラレルナラハ中立法ヲ適用セヌ爲生スル危險ハ充分防ケルタラウト思フ、條約援用ニハ制裁ニ參加スル覺悟カ必要タカ、實力ヲ用ヒナクテモ斯ル態度其ノモノテ日支

ヲ一應反省サセ得ルカモ知レヌシ、注意深ク日支兩國ノ顔ヲ立テルヤウ公平ニヤレハ、極東平和ノ再建ハ不可能デモナイタラウ

(2) 獨逸紙

△「ベルリナー。ターゲブラット」（八月廿七日）（「日本ト「アングロサクソン」」「オットウ。コルバツハ」）

日本ハ産業革命ヲ遂行シ、商品販路ヲ全世界ニ擴大シタカ、其ノ顧客ハ歐米ノ商品ヲ購入スルノ能力ナキ有色人種ナル點、又他方白色人種國間ノ商品交換ヲ盛ナラシムヘキ見込カ無限ニ存在スル點カラ見テ、日本ノ「ダンピング」ハ大騒スルニモ當ラナカツタ。然ルニ英米人ハ日本ノ國際貿易ニ手枷、足枷ヲ着セ、遂ニ日本ヲ驅ツテ專ラ亞細亞大陸ニ商品ノ捌口ヲ確保セシムルニ至ツタ。一時日本ノ外交ヲ支配シテ居タ日支提携ノ意見モ之テハ遂ニ葬ルノ外ナク、明、清時代ノ支那領土ノ一部カ今日テハ或ハ日本ニ或ハ蘇聯ニ屬シ。又西藏カ英國ノ勢力範圍ニ屬セル現實ヲ直觀スレハ、世界輿論ニ於テ日本ノミ支那領土ノ侵犯者トシテ非難サレル

ノハ全ク不當デアル。北支密輸ニ付テモ、外國ノ統制下ニアル支那稅關ノ歷史ヲ繙ケハ、夫レハ單ニ組織化サレタ密輸ナル所以カ判明スル。極東ニ於テコソ西洋諸國ハ他ヲ見下クルノ態度ヲ取ル權利ハナイ。

△「モンタークー」（八月三十日）（「ロカール。アンツアイガー」紙ノ言ハハ月曜版）（「蘇支條約ハ支那ニ危險」）

支那ハ此ノ十年間身ヲ以テ「ボルシエヴイズム」ノ害毒ヲ體驗シナカラ、抗日戰ノ爲ニ蘇聯ト防禦同盟ヲ締結シタ。「ボルシエヴイズム」ハ常ニ攻擊的デ、防禦協約トハ全然沒交涉ノ代物ダ。右ハ單ニ赤化帝國主義ノ煙幕ニ過キヌ。殷鑑遠カラス西班牙ヲ見ヨ、佛蘭西ヲ見ヨ。支那ハ尙斯ル高價ナ代償ヲ拂ハントスルカ。日支妥協ノ道モ之デ全ク遮斷サレタ。蘇支協定カラ來タ支那ノ危險ハ全ク逆睹シ得ヌ程甚大デアル。

△「ベルリナー。ローカル。アンツァイガー」（九月一日）

一、蘇支不侵略條約第一條ニ規定スル戰爭手段ノ排斥ヲ、蘇聯カ如何ニ解シテキルカハ、彼ノ赤色西班牙對蘇聯ノ例ニ依テ明カテアル。又蘇聯ハ第二條ニ依リ、支那國内ノ赤化彈壓ノ手ヲ封スルニ成功シタ。以上カ此ノ條約ノ政治的意義テアル。

一、南京政府ハ「ボルシエヴイズム」ト提携セスト辯明シタカ、自已欺瞞モ甚タシイ。佛蘭西ノ例テ證明サレル如ク、南京政府ハ斯クシテ共産主義革命運動ノ脅威ヲ背後ニ受ケルニ相違ナイ。斯ノ如キ條約ニ依テ、抗日戰線ノ背後ヲ確保スル等トハ痴人ノ夢ニ過キヌ。

一、極東ニ於ケル「ボルシエヴイズム」ノ侵入ハ、日本ニ對スル脅威タルニ止マラス、世界政局ノ變動ヲ意味スル。英米兩國ハ之ニ對シ何等カ態度ヲ決セネハナラヌ。

△「ゲルマニア」（八月廿日）

假ニ今次蔣介石ノ決心カ抗日作戰上背後確保ノ必要ニ促サレタトシテモ、今ヤ支那カ内政的ニモ「ボルシエヴイズム」ニ魂ラント

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

シツツアル事實ハ否定出來ヌ。蘇支兩國ハ英米ノ對支消極策ニ依リ親善ヲ促進サレタト見ラレルカ、今後蘇聯邦ハ支那ニ武器軍需品ヲ供給スヘク、戰爭カ長引クニ連レ對支援助ハ擴大シテ行カウ

△「ドイツチエ。アルゲマイネ。ツアイツング」（八月卅日）

（「危險ナル背面確保」）

南京政府ハ蘇支不侵略條約ヲ四箇條ノ成文内ニ止メル意嚮ト發表シタカ、蘇聯側ハ考ヘカ違フ、蘇聯政府ノ對極東干渉ノ危險ハ今ヤ目前ニ迫ツテ居ル。南京政府ノ聲明ノ通リ、此ノ危險ヲ回避シ得ルカ否カハ頗ル疑ハシイ。一體「モスクワ」ニ背面確保ヲ求メルカ如キハ危險極マル。英國ノ對日抗議ニ於テハ、「チエンバレン」首相ハ此ノ間ノ事情ヲ賢察シテ態度ヲ軟ラケタト想像サレルカ、英國ハ佛國ノ蘇聯抱込ニ賛成シテ歐洲テ苦キ經驗ヲ嘗メ、今又東洋テ之ヲ繰返サントシテ居ル。

△「ベールゼン。ツアイツング」（八月卅日）

支那ハ十年來ノ仇敵共産軍ト提携セントシテ居ルカ、蘇聯ノ勢力カ支那内政ニ侵潤スル結果、支那ハ結局蘇聯ニ抱カレテ窒死スル

ノテハナイカ。

△「ベルリン。ナツハト。アウスガーベ」（八月廿日）

支那ハ蘇聯政策ノ危險ヲ自覺セヨ。蘇聯政府ノ目的ハ支那ヲ第二ノ西班牙トスルニアル。今後日支紛爭ハ更ニ激化スヘク、日本政府ハ、蘇支間軍事同盟ノ存在ヲ確信シテ居ルラシイ。

△「フェルキツシャー。ベオバハター」（「ナチス」黨機關紙）紙ハ九月一日備教特派員「テオドル。ザイベルト」博士ノ「英國ト上海」ト題スル論説ヲ揭ケ、次ノ如ク述ヘテ居ル。

一、英國ハ日本カ滿洲國ノ咀嚼ニ長時日ヲ要スル結果、稍々北支ニ進出スルノカ關ノ山ト考ヘテ居タノニ、上海陷落カ目前ニ迫ルヤ、近年日本ノ上海租界ニ於ケル異常ノ進出ニ徵シ問題ハ一部英國民ノ生命、財産ニ關スルニ止マラス、英國ノ全東洋貿易ノ死活ノ問題テアルトシ、延イテハ雲南、香港ノ運命迄氣ニ病ミ出シタ。

一、英國ハ今後事態發展ノ結果、結局歐米ハ極東ヨリ放逐サレルタラウト見テ、日支兩黄色人種國ノ提携ヲ非常ニ惧レテ居ル。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

英國ノ新嘉坡ヘノ退却ヲ主張スル者モアルカ、英國政府ハ目治領ノ希望モアリ、毅然ト無抵抗ニ退却スルコトヲ欲シナイ。

一、左リトテ地中海ノ空氣緊迫ニ鑑ミ、艦隊ヲ極東ニ派遣スルコトハ出來ヌ、此ノ事態ヲ直視スル一部政治家ハ蘇聯邦ヲシテ極東ヘ介入セシメルコトヲ得策トシテ居ル、然シ英國政府ノ誰一人トシテ現在對日戰爭干渉乃至戰爭ノ可能ヲ信スル者ハナイ、唯華府ノ空氣カ二週間前ヨリ好轉シタ今日、英米ノ艦隊勢力ヲ背景ニ佛國ノ援助ヲ得テ上海ノ喪失ヲ免レ、日本ノ目指ス目的ノ全體的實現ヲ外交的ニ防止シヨウト努力シテ居ルニ過キヌ。

(3) 佛國紙

△「プチ。ジュルナル」(八月卅一日)(「ラ。ロシヤシエール」―

「蘇支協定ノ新意義」)

八月三十日公表ノ蘇支不侵略條約ハ、其ノ文面ニ於テハ全ク無意味ダ。尚ホ外蒙古ノ獨立運動ニ關スル蘇支關係ハ滑稽ナル感ヲ與

20

ヘル。外蒙ニ對スル支那ノ主權ヲ認メタ一九二四年五月三十一日ノ蘇支條約ハ、同年六月二十一日ノ蘇蒙條約ニ依リ一箇月ヲ經サルニ早クモ破棄サレタ經緯カアル。茲ニ於テ、吾人ノ所見左ノ如シ。

一、右協定締結ニ依リ、日本ニ不意打ヲ喰ハシ、以テ其ノ憤激ヲ誘發セントシタルコト。然ルニ公表前之ヲ暴露シタノハ日本自身故此ノ點ハ完全ナル失敗テアル。

二、何等軍事同盟ノ如キヲ伴ヘルト思惟セラルル關係上、右協定ニ依リ、蘇聯カ日本ヲ侵略者ト決定シタル場合、蘇聯ノ武力干渉ヲ招カサルヤノ點テ、此ノ點ハ吾人ノ深甚ナル注意ヲ要スル。

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

(4) 白國紙

△「スタンダード」（八月三十一日）

蘇支條約ハ必然的ニ日蘇關係ヲ悪化セシメル。從來共産主義打倒ヲ標榜シテ居タ蔣介石カ突如蘇聯邦ト結ンタノハ注目ニ値スル。問題ハ適當ノ對價ナシニ相手國ノ御用ヲ努メタコトナキ蘇聯カ、今回支那ヨリ如何ナル對價ヲ獲得シタカノ點テアル、蓋シ附屬密約ハ右對價ヲ規定スルモノテアラウ。日本ハ之ニ對處スル爲必スヤ北支ニ一國家ヲ構成シ、之ヲ以テ南京政府ト蘇聯トノ緩衝地帶トスヘク、蘇聯邦ハ西班牙ニ於ケルト同樣、又々秩序攪亂者ノ役ヲ努メツツアル。蘇聯今次ノ行動ハ「集團的平和」ノ爲テナクシテ正ニ「集團的戰爭」ノ爲テアル。

△「プープル」（八月三十一日）

極東及世界ニ於ケル英國ノ權威ハ著シク失墜シタ。滿洲事變當時ハ容易ニ日本ノ帝國主義ヲ操縦シ得タカ今日トナツテハ、英國ハ假令歐洲ニ於テ獨伊兩國ノ脅威ナシトスルモ、日本ニ對シ到底濁動ハ行ヘヌ。又之ヲ敢行スレハ英國ノ敗北ニ終ラウ。今ヤ蘇支不

侵略條約ノ締結ニ直面シ痛感セラルル所ハ、英國カ日本ニ對抗スル爲強力ナル支持ヲ得ントスレハ、結局蘇聯邦ニ之ヲ求ムルノ外ナク、此ノ點ハ誠ニ慘酷ナル一ノ事實テアル。

△武府「ソワール」（九月一日）（「ロラン・ド・マル」）

蘇聯ハ蘇支條約ノ結果支那ヲ援助シヨウ。但シ積極的ニ干渉ハ爲スマイ。蓋シ同國内ノ政治的不安ト、赤軍首腦者ノ處刑ニ伴フ軍隊ノ意氣沮喪トハ、到底之ヲ許サナイ。蘇聯ハ歐洲ニ於テモ亦亞細亞ニ於テモ戰爭スル意思ハナイ。戰爭ハ假令勝ツテモ「ソヴイエト」制度ノ沒落ヲ招來スル。蘇聯ハ自ラ戰爭ヲ爲サス、他國ヲシテ之ヲ爲サシメル。是レ戰爭カ資本主義ノ崩壞ヲ促進スル最良ノ方法タルヲ知ルカ故テアル。

(5) 芬蘭紙

九月一日ノ芬蘭新聞ハ八月三十一日「モスクワ」發「アヴアス」電トシテ、今次蘇支條約ハ表面ノ條項ノミニテハ意義乏シキニ鑑ミ、

軍事援助ニ關スル秘密存スルモノト認メサルヲ得サル旨ヲ報シタ。

(6)「シヤム」紙

日支事變發生以來盤谷諸新聞ハ外國電報ヲ詳述シ、大關心ヲ示セルモ論評少ク、八月十四日ノ盤谷「タイムス」カ、紛爭ハ兩國ニ多大ノ犧牲ヲ與フル以外何物ヲモ齎サスマシト論シ、同十八日ノ「クロニクル」亦兩國カ此ノ點ヲ一日モ早ク認識センコトヲ希望ス、トノ趣旨ヲ論シ多少一般ノ注意ヲ惹イタニ止マルカ(邏字紙ノ論調ニハ特記スヘキモノナシ)(八月二十八日ノ「クロニクル」紙ハ更ニ「日支紛爭ト邏羅ニ及ホス影響」ト題シ、上海中立化ノ提議ヲ日本カ拒否シタル矢先、英國大使ノ遭難事件カ世界ニ一層ノ不安ヲ與ヘタコト、殊ニ日支兩國ト密接ノ經濟關係ニアル「シヤム」ニ於テハ、今日ノ東亞ノ情勢ハ之ヲ等閑視シ得サルコト、諸物價カ既ニ約二割ノ昂騰ヲ示シタ今日、食料品不足等ニ關スル歐洲大戰當時ノ苦キ經驗ヲモ參照シ、政府ニ對シテ善處ヲ希望シ、今次事變ヨリ蒙ルヘキ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

國民經濟生活ノ壓迫ニ關シ警告ヲ與ヘタ。强ク一般ノ注意ヲ惹イタ。

支那

(1) 金融安定辦法修正救國公債發行其ノ他

一、財政部ハ今回少額預金者ノ便宜ヲ計ル爲、金融安定辦法ヲ修正シ、預金金額三百元以下ノモノニ對シテハ九月一日以降百分ノ二十五ノ制限ヲ受ケサルコトトナシ、又定期預金ノ期日到來ノ場合ノ利息ニ付イテハ、一年七千八百元（毎週百五十元ノ割合）ノ限度ニテ支拂ヲ受ケ得ルコトトシタ、

二、現在ノ紙幣缺乏ヲ救濟スル爲ニ

(一) 中農銀行ハ九月一日ヨリ新五十仙紙幣發行ノ旨公告シタ、

(二) 上海ニ於テ特殊ノ國内融通券發行方ヲ中央ニ請訓シタカ、右ハ外國爲替及法幣ニ交換スルヲ得サルコトトシ、貨物ヲ以テ準備ニ充當、政府系銀行ヨリ發行スヘシ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

三、救國公債ハ九月一日發行開始セラレタカ、上海ニ於テハ同公債ヲ以テ家賃支拂ニ充當セントスル運動テアル。

(2) 外國人ノ山東省內ノ遊歷執照ニ加印セス

沈青島市長ハ外交部ノ訓令ニ依ル趣ニテ山東省ハ軍事的要地テアルカラ八月二十六日ヨリ當分外國人ノ山東省全省內ノ遊歷執照ニ加印シナイ旨通告シタ。

26E

103

昭和十二年九月八日

支那事變ニ關スル各國新聞論調概要（三十六）

（執務參考用ニ付キ取扱注意アリタシ）

情報部第三課

秘

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/